

有機農業の取組 No.18 株式会社アグリ・コーポレーション 令和4年3月現在

<基本情報>

所在地：長崎県五島市三井楽町

(令和2年度未来につながる持続可能な農業推進コンクール生産局長賞受賞)

<農場概要>

- 有機JAS認証ほ場40ha(かんしょ、大麦、小麦)
- 有機JAS認証のかんしょを加工し、赤ちゃん用のおしゃぶり干し芋等を製造



<有機農業に取り組むきっかけ>

- 大阪市でコンサルティング会社に勤務し、将来、農業コンサルティングに従事したいと考えていたところ、義理の祖父の出身地である当地で農地を取得したことにより10年前に営農開始。
当初は、農薬や化学肥料を低減した栽培に取り組んでいたが、土づくりや生物多様性保全の取組、他産地との差別化、加工品の付加価値向上などを考えて、**平成30年(2018年)に有機JAS認証取得を開始し、令和2年(2020年)には、全ほ場の有機JAS認証を取得。**

<販売について>

- かんしょ(青果用及び加工用)は、全国の小売店、飲食店、生協、通販会社、大手コンビニ等へ販売。大麦、小麦は、卸業者に販売。
- 高付加価値化として、かんしょを、赤ちゃん用のおしゃぶり干し芋「おしゃぶー」や小型犬向けの「ワンちゃんのおやつ」、和洋菓子用原料として「かんしょペースト」に自社で製造・販売。

<輸出について>

- 商社と協業し、国内で取引需要が少ないかんしょの規格品(S~2S)を、オーガニック需要が高い香港を中心に輸出。



<病虫害対策・除草対策・土づくり>

- 病虫害対策
自社製造の天然由来の液肥や環境にやさしいBT剤を散布することで、病虫害被害を抑えている。
- 雑草対策
かんしょと麦の輪作を実施。春まで麦を栽培することにより夏季の雑草抑制に繋がり、機械除草の回数を抑えている。
- 土づくり
BLOF理論(生態系調和型農業理論)に基づき3年に1度の土壌診断を行い、必要なミネラル等を施用。
肥料は、有機JAS認定の元肥を中心に、自社製造の肥料を使用。

<苦労しているところ>

- 人口減少により、耕作放棄地が増加。
これまで10haに及ぶ耕作放棄地を再生したが、再生作業以上に苦労したことは、農地の地力向上に時間を要すること。



<今後の展開>

- 五島市三井楽町は、20年間で3割以上人口が減少。
耕作放棄地の解消、移住者・市民が働きたい会社づくり等により地域に貢献し、「オーガニックをプラットフォームとした街づくり」を20年後のビジョンとしている。

【お問合せ先】TEL. 0959-84-2989

ホームページ: <http://osyaburi.jp/index.php>